

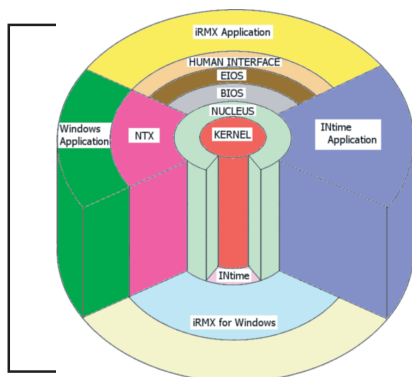
iRMX for Windows

Windows® パソコンでリアルタイム処理を実現する
新しいアプローチのリアルタイムOS

リアルタイムOSの導入をお考えで、かつ、コストの削減を狙っているならば、“iRMX for Windows”をぜひ検討ください。iRMX® for Windows® は、Windows® NT/2000/XPパソコンに導入でき、Windows® の持つ豊富なソフトウェア製品、ハードウェア&ドライバ、既存アプリケーション、開発環境・知識、最新技術を応用しながらも、要求される厳しいリアルタイム性能の実現を保証できる最新鋭リアルタイムOSだからです。

マルチレイヤ構造

INtime® リアルタイムカーネルを中心にリアルタイムOSとしての能力を加えました



- リアルタイムファイルドライバ実装
- iRMXウインドウズコンソール実装
- リアルタイムTCP/IPドライバ添付
- 開発環境/言語VisualStudio6.0、iC386、PLM386、ASM386
- SoftScopeデバッガ標準添付
- INtime® 開発版パッケージ同梱

iRMXタスクスケジューリング

過酷な制御を含んだタスクには256段階いずれかの優先度を持たせ、リアルタイムカーネル上に設置します。リアルタイムカーネルはReady状態（準備完了）とRunning（実行）状態にあるすべてのタスク優先度を比較して、最も優先度の高い1タスクをRunning（実行）させます。

Windows® は最も優先度の低い1つのiRMXタスクとしてリアルタイムカーネルに管理されながら動作します。この構造によってWindows® はどのような処理をしてもリアルタイム処理に悪影響を与えることができません。



さまざまな利点

- 時間厳守処理の実現 Windows® では実現できなかった処理をリアルタイムOSがカバーします
- コストの削減 1台のパソコンで計測制御とオペレーションが両立できます
- 優れた操作性 MMIとして世界標準と言うべきWindows® を利用します
- 開発期間の短縮 使い慣れたVisualStudio, VisualBasicによる開発が可能です
- 豊富な資源を活用 iRMXの導入を行ってもWindowsにはほぼ制限が発生しません